

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ムーヴメント・ムゲン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ムーヴメント・ムゲン

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

番

PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

MB

4in1/2

研磨剤

比較対照ボール：カオス

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

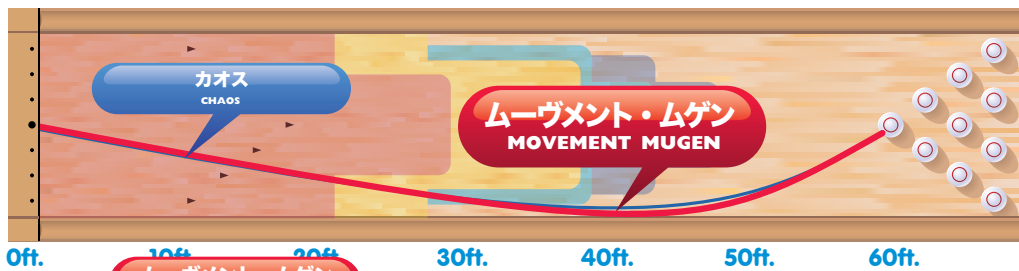
ポリッシュ

番

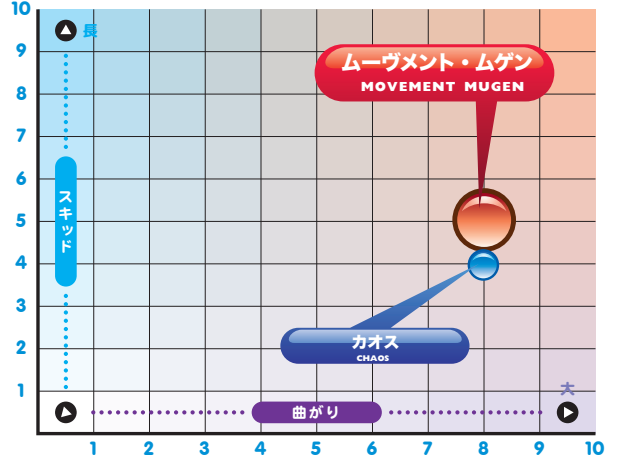
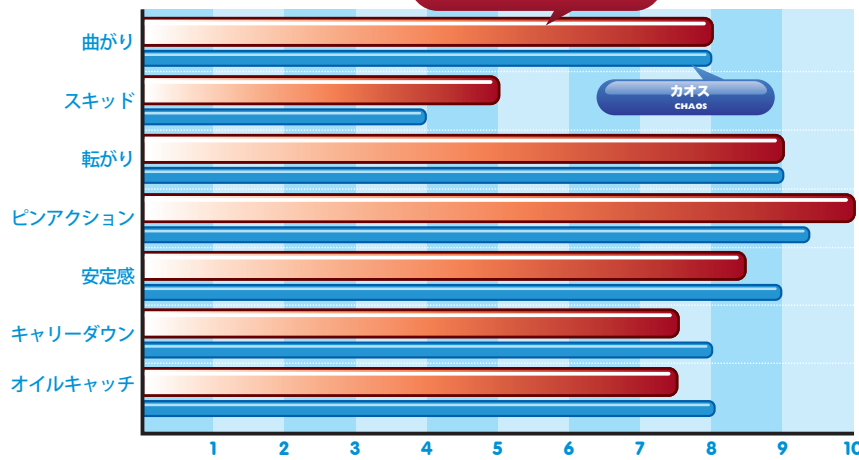
PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Columbia300の集大成。これからColumbia300のブランドはこのボールを基準とし、新たな歴史を刻むことになります。約1年に及ぶABSとClumbia300との共同研究は、ライバルメーカーとの違いをKEGEL社「SPECTO」(投球可視化装置)におけるデータ収集から始まり、ボールが手から離れてからピンヒットまでの測定まで細かい角度から検証し、他社ボールとの比較を行ってきました。可視化できるデータは明らかな違いを表し、Skid, Hook, Rollに至る部分の改良点を我々に提示してくれました。その差を限りなく埋め、+αを盛り込んだコンセプトボールがこのMOVEMENTです。

PS5.0 Hybrid Reactiveは全く新しい新開発カバーで、柔軟性と連結性を可能にするポリマーネットワークから形成されていて、摩擦を最大限に上げるために大きな接地面積を可能とし、ポリマーの属性が高い分子構造によりレーンにしっかりと吸着しオイルの中を切り込むように進みます。GEAR Coreと命名された新しいコアテクノロジーは、ディスク状の特殊な形状をしています。ギアの中心部は重く、RG数値を低くします。特殊なディスク形状がトラックエリアと連動する設計でフロントエリアのスキッドを生み、ミッドレーンで安定してエネルギーを蓄え、バックエンドでエネルギーを解放する設計になっています。

日本のボウラータイプに合わせて開発を進めると同時に、研究の中でポケットヒットにおけるストライクとタップの要因に”曲がり始め”から”曲がり終わり”と、その後の距離と軸の関係が密接であることが分かりました。その研究結果をもとにカバーストックの強さの調整と新開発コアの慣性までを調整して、今までより明らかにストライク率が向上する結果を得られました。そこにColumbia独自のHST(Hyper Shock Technology)を組み入れることでさらに数% (当社比)の向上を図ることができました。満を持して発表されたMOVEMENTで可能性は無限に広がります。

特記事項

エネルギーを蓄積しやすいコアを特徴を活かし、奥の動きを重視した構造。カバーストックはトラクションが強い素材で十分なグリップが生じます。十分なグリップと奥でエネルギーを放出させるマッチングで無敵のボールが完成。可能性を広げるMOVEMENTに期待してください。